

西条市まちづくり市民会議における評価・意見及び回答

①第2期西条市総合計画（前期基本計画）

No	まちづくり市民会議委員から提出された評価・意見等				評価・意見等に対する回答
	章	節	項目（指標）	評価・意見等の内容	
1		全体		新型コロナウイルス感染症対策として、3月には各活動の制限が始まっており、施設利用など一部の成果指標においては配慮が必要かと推量される。後期基本計画の評価までにその影響を明示しての総括ができるよう配慮が必要と思われる。	ご指摘のように、新型コロナウイルス感染症対策等の影響により、施設利用など一部の成果指標へ影響がありました。令和2年4月からスタートした後期基本計画のKPI等はその影響が大きく懸念されることから今後検討していきたいと考えています。
2		全体		基本目標3及び4の達成状況が他の目標達成状況より良好な理由は何か。	基本目標3、4の成果指標は、公共事業等の進捗率、消防車両の整備及び施設整備等といった、予算の執行と各種指標が直結しているものが多かったため、他の基本目標で設定する指標と比較し、達成率が高かったものと認識しています。
3	1	健康づくりの推進		健診を長年していない方の把握をする必要がある。	健診の受診状況は各保険者において管理しており、市においては国民健康保険の被保険者のうち40～74歳の特定健康診査の対象者の受診状況を把握しています。現在、特定健康診査の未受診者に対しては、個々の受診歴等を参考に文面を工夫した受診勧奨通知を送付して受診を促しています。今後も受診状況の把握に努め、状況に応じた未受診者対策を行ってまいります。
4	1	福祉の充実	老人クラブの加入率	老人クラブなど高齢者が集える場所づくりをすることで、閉じこもりを予防する対策があればよい。	高齢者が集える場所として、老人クラブの活動以外にも、生きがいデイサービスセンターへの通所により各種サービスを提供することで、高齢者の生きがいづくり、自立生活の助長、社会的孤立の解消及び心身機能の維持向上を図っています。また、一人暮らしの高齢者等に対しては介護予防に資する活動をボランティアで行おうとする地域住民グループの育成支援も行っています。さらに、地域包括支援センターでは、介護予防として、いきいき百歳体操教室や高齢者つどいの場（高齢者カフェ）を実施し、人とのつながりを通じて、生きがい・役割を持って生活できる地域の実現に向けた取り組みを推進しています。また、高齢者の介護予防と自立した日常生活を総合的に支援することを目的に、スマイルサポート教室も実施しています。今後とも介護予防を推進するとともに、高齢者の生きがいづくりの支援に努めてまいります。
5	1	福祉の充実	老人クラブの加入率	老人クラブの加入率が年々減少している。正直無理ないと思う。リーダーとしての役割が大変だということが、加入しようと思う人にわかるので、ストップしてしまうのが現状で、老人クラブに加入すると即リーダーにされるとの懸念がある。老人クラブの活動に関する市の補助金の申請書類が難しい。また、補助金の使途に制約が多すぎてほしいものが買えない。研修視察も行事も制約が多い。趣味の行事も地域の愛好者で楽しくやれているので、クラブに入る必要性がないという声を聞く。	ご指摘のとおり、老人クラブをはじめ、地域で活動する自治会や婦人会などの各種団体は、担い手の不足、役員の高齢化・固定化などの課題を抱え、地域課題の解決に向けた継続的な取組を行うことが困難な状況となっています。今後、少子高齢化、人口減少が加速していくことで、これまでは、当たり前前にできていた地域活動すらできなくなってしまうことが予測されます。本市では、これからの少子高齢化・人口減少時代の地域コミュニティの維持には、自治会や各種団体がより協力・連携を深め、相互の取組や課題を補完し合える仕組みづくりが必要だと考えており、その仕組みとして「地域自治組織」の設立を推進しています。また、老人クラブをはじめ、地域で活動する団体には、行政の様々な部署から補助金などが交付されており、補助金等に対する事務手続きが煩雑であり、役員の負担を増加させているとの声をお伺いします。このため、補助金申請等に必要数多くの書類作成や煩雑な手続きに対する負担も考慮した支援策の検討も行っていきたいと考えています。
6	1	福祉の充実	老人クラブの加入率	年々高齢化が進んでおり、高齢者が減っているわけではないのに、老人クラブの加入率が年々下がっているのはなぜか。そもそも、老人クラブ自体が今の時代にあってない気がする。もっと、今の時代に即した形に変わっていく必要があるのではないかと。今は、年金も引き上げられ、社会全体の定年も60歳から65歳、70歳へと引き上げられ、定年なしの会社も増えている。生涯現役を目標に働かされている方も多い時代なので、いきいきとした高齢者が多い市であってほしい。	老人クラブの加入率は、減少傾向が継続しています。理由としては、ご指摘のとおり、国の方針もあり就労を継続する高齢者が増加していることに加え、在宅の高齢者が気軽に参加できるデイサービスなどの事業が充実し、高齢者の選択肢が増えたことが考えられます。今後とも、老人クラブ活動の周知を行いながら、高齢者の介護予防を推進するとともに、生きがいづくりの支援を行います。

No	まちづくり市民会議委員から提出された評価・意見等				評価・意見等に対する回答
	章	節	項目（指標）	評価・意見等の内容	
7	2 豊かな自然と共生するまちづくり	1 自然環境の保全	カブトガニの幼生発見数	カブトガニの幼生発見数が、この2～3年で増えていることに驚いた。	詳細な調査を行ったわけではありませんが、カブトガニの幼生を放流する時期や放流する幼生の年齢を変えるなど様々な工夫をしていることから、カブトガニの幼生発見数の増加につながっている可能性があるものと考えています。
8	2 豊かな自然と共生するまちづくり	1 自然環境の保全	カブトガニの幼生発見数	「カブトガニの幼生発見数」を成果指標に設定しているが、カブトガニが生息できるための条件の何に課題があって、何を改善したのかを指標にすべきではないか。発見数は努力量や自然条件で変化する。	本指標については、希少生物の調査・保護を推進し、生物多様性の保全を図る施策として設定していました。ご指摘のように、本指標は施策を測る指標としてはふさわしくないことから、後期基本計画では総合計画審議会における議論などを踏まえ、見直しを行いました。後期基本計画では新たな指標として「自然環境を守る活動に取り組む市民団体の増加」「自然観察会等の参加者の増加」を設定しています。
9	2 豊かな自然と共生するまちづくり	2 水資源の保全	かんがい期の加茂川（長瀬）地点5m <sup>3</sup> /秒以上の流量確保日数	「かんがい期の加茂川（長瀬）地点5m <sup>3</sup> /秒以上の流量確保日数」を成果指標に設定しているが、本指標は人為的に影響を受けないため、計画、施策を遂行した指標にならないのではないかと。	ご指摘のとおり本指標については、年間降水量に大きく影響され、目標達成には石鎚山系の保水力向上と、黒瀬ダムの協力が不可欠です。これらを踏まえ、後期基本計画では総合計画審議会における議論などを踏まえ、指標の見直しを行いました。後期基本計画では新たな指標として「生活用水の使用量の抑制」「企業活動における地下水利用量の抑制」「農業用水として水利用量の抑制」を設定しています。
10	2 豊かな自然と共生するまちづくり	3 生活環境の整備	再資源化率	ゴミの分別を検討してほしい。	本市のゴミの分別は先進他市と比べると少なく、一人当たりのごみ排出量は、県平均を大きく上回っています。このため新たなゴミの分別の検討も必要と考えており、プラスチック製容器包装類を分別収集することを検討していましたが、収集したプラスチック製容器包装の中間処理施設の整備を道前クリーンセンターの更新整備時期と合わせて検討することとなったことから、現時点では実施に至っておりません。
11	2 豊かな自然と共生するまちづくり	3 生活環境の整備	再資源化率	西条市はゴミの分別がゆるい地域だと思う。もっと環境を考えてゴミの排出量を少なく、再資源化に取り組んでほしい。	新たな分別により収集日を増やすことになると、収集運搬に要する費用が増加することから、まずは市民の皆様分別の必要性を呼び掛けていく必要があると考えています。また、今年度から市役所本庁及び各総合支所で小型家電の拠点回収をはじめることとしており、その他の品目についても引き続き分別の検討をまいります。
12	2 豊かな自然と共生するまちづくり	3 生活環境の整備	再資源化率	「再資源化率」が年々低下していますが、この要因は何か。	再資源化率の低下は、ゴミ分別の意識低下が要因と考えられますので、市民の皆様分別の必要性を呼び掛けてまいります。また、新たなゴミの分別として、プラスチック製容器包装類を分別収集することを検討しています。道前クリーンセンターの更新整備時期と合わせて、収集したプラスチック製容器包装の中間処理施設の整備を検討することとしており、更なる再資源化率の向上を目指します。
13	3 快適な都市基盤のまちづくり	全体		ハード面の社会基盤整備が主な成果指標であるが、予算確保等の努力の跡がうかがわれる。今後の事業推進にも期待したい。	快適な都市基盤のまちづくりの実現に向けて、国、県とも連携を図りながら事業を推進してまいります。
14	4 災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり	1 防災・減災対策の強化 2 防犯対策の推進	空き家対策	防災・防犯の関係で「空き家」に関しては対策が必要ではないでしょうか。	空家対策としては、倒壊等の危険がある老朽危険空家に対しては、所有者等へ西条市老朽危険空家除却事業補助金の交付等により除却を進めていきます。また、衛生面、景観面、防犯面等において適切な管理がなされていない空家については、本市が空家等の適正な管理の促進に関する協定を結び、空家等管理代行サービスを提供しているシルバー人材センターを所有者等に紹介すること等により、管理の適正化を推進してまいります。

No	まちづくり市民会議委員から提出された評価・意見等				評価・意見等に対する回答	
	章	節	項目（指標）	評価・意見等の内容		
15	4		全体	防犯・防災について市民意識の向上が課題。広報も大事であるが、意識と行動の伴う啓発講座の開催は重要。もっと手軽な民間の活用による講座の開催を企画し積極的な取り組みが大事ではないか。	地域防災力の強化に向けて、引き続き防災士や自主防災組織と連携し、市民の防災に関する知識と意識啓発、訓練実施に取り組んでまいります。防犯についても、関係団体と連携し、地域や学校等で防犯意識向上のための講座を開催しているところであり、今後も実施してまいります。	
16	5		全体	5章については、基準値を下回った指標数が50%と大きく、他に比べて突出しているため目に留まった。	第5章は教育や文化に係る指標を設定していましたが、少子高齢化の進行や価値観の多様化による社会状況の変化などが要因となり、基準値を下回ったものと考えています。後期基本計画では、こうした社会状況の変化を踏まえ、地域づくり、人づくりを目的とした新たな指標を設定しています。	
17	5	4	社会教育の充実	公民館利用延べ人数	人口減少が理由に挙げられるが、やはり地域に根差した公民館の利用が減少しているのが気になる。	公民館の利用延べ人数については、耐震改修（H28～R元 R元：中央公民館、加茂公民館）、新型コロナウイルス感染症等の影響により利用者数が減少したものと捉えています。本市の公民館は、社会教育の拠点、地域づくりの拠点、さらには防災の拠点として、地域で活動する各種団体と協力しながら地域の中核的な施設としての役割を担っています。人口減少や少子高齢化等による多様化・複雑化する地域課題を住民主体で解決・対応するために、今後は地域自治組織をはじめ、地域で活動する各種団体等が連携を深める場所として、公民館の持つ地域づくりの拠点としての機能をさらに充実・強化してまいります。
18	5	4	社会教育の充実	公民館利用延べ人数	公民館は利用者が固定化している傾向がある。地域活動の取り組みやまちづくりの拠点としての利用が少ない、もっと情報発信が進めば公民館の利用者の出入りが増加すると思う。	
19	5	1	学校教育の充実	教育用パソコン	教育用パソコンの実績値の単位が理解しづらい。	国の第2期教育振興基本計画（2012年～2017年）において教育用パソコンの目標は3.6人/台でしたが、第3期教育振興基本計画（2018～2022年）において、3クラスに1クラス分程度の整備を目標とすることが定められました。本項目の目標値は、国の目標値に準じて設定していたため、国の目標値の変更に伴い、単位を変更しています。令和元年度実績の6.6クラス/1クラスは6.6クラスに1クラス分程度の整備という意味になります。
20	5	1	学校教育の充実	教育用パソコン	教育用パソコンの数値が「人/台」から「クラス/1クラス」に変わっていることの意味がよくわからなかった。概ね目標を達成できているのであれば、問題はないが、目標値が変わった理由は何か。	
21	5	1	学校教育の充実	電子黒板・実物投影機の整備率	電子黒板等の整備率の高さに驚いた。素晴らしいことだと思う。	電子黒板等を活用するなど、ICTを効果的に活用し、校務の効率化を図りながら、わかる・できる・楽しい授業を創造し、質の高い教育を推進していきます。
22	5	4	社会教育の充実	放課後子ども教室実施数	「放課後子ども教室」の協力員として、昨年度出させていただいたが、どの分野でも子どもたちは生き生きと活動していて好ましく思った。学校教育とは別の楽しむ姿に関心している。各地域で教室が増えていけばいいと思う。	今後とも、学校・家庭・地域の連携・協働により、社会性、協調性、豊かな心を持った青少年の育成を推進するとともに、地域社会全体の教育力の向上に取り組んでいきます。
23	6	5	商業の振興	商店街空店舗率 中心市街地商店街の1日の通行量 中心市街地の居住人口	商店街空店舗率、中心市街地商店街の1日の通行量、中心市街地の居住人口の目標値が、当初の基準値を下回っていることが気になった。商店街の空店舗の有効活用を、創業する移住者などの支援と絡めることができれば、商店街の通行量も増え、賑わいもでて、相乗効果で目標も達成しやすいのではと感じた。	県外から移住してきた西条市の起業家育成プロジェクトのメンバーが商店街の空き店舗を活用して地域の魅力を発信するための活動拠点を整備した例もあり、今後も目標達成に向けて関係各所と取り組みを進めていきます。

No	まちづくり市民会議委員から提出された評価・意見等				評価・意見等に対する回答	
	章	節	項目（指標）	評価・意見等の内容		
24	6	活力あふれる産業振興のまちづくり	5 商業の振興	商店街空き店舗率 中心市街地の居住人口	商店街の空き店舗の増加や市街地の居住の人口減少がある中で、地域おこしグループにアイデアを出し合ってもらい、活性化して欲しい。	後期基本計画では、まちの活力や小売サービスの維持を目的に、商工会議所や商工会、株式会社西条産業情報支援センターなどの支援機関等と連携し、企業などがチャレンジしやすい環境構築をすすめ、新規出店や商業サービス提供希望者を発掘する施策に取り組むこととしています。 なお、地域おこし協力隊員につきましては、現在も商店街でのイベントの開催や空き店舗を活用し自身の拠点をオープンするなど賑わい創出に向けた取組を進めていただいているところであり、引き続き、こうした活動を行政としても支援して参りたいと考えています。
25	6	活力あふれる産業振興のまちづくり	5 商業の振興	商店街空き店舗率	全国的に地方は衰退と空き店舗が増えている。本市も同じである。高齢化、後継者不足、大型店舗の進出、車社会への移行が進む中、今後の大きなテーマを商業者の皆様と行政が向き合って相互の役割を明確にしてまちおこし策を示すべき。	郊外型小売店舗の増加、インターネット販売の利用増により、商店街への来訪者数が減少するとともに、中心市街地の人口減少・少子高齢化によって、商店街の空き店舗が増加しています。 後期基本計画では、まちの活力や小売サービスの維持を目的に、商工会議所や商工会、株式会社西条産業情報支援センターなどの支援機関等と連携し、企業などがチャレンジしやすい環境構築をすすめ、新規出店や商業サービス提供希望者を発掘する施策に取り組むこととしています。 なお、成果指標については見直しを行い、後期基本計画では、「商業地域等の新規出店数の維持」「市内商店街の新規出店者数の維持」を設定しています。
26	6	活力あふれる産業振興のまちづくり	5 商業の振興	全体	本節に掲げる目標の達成度が低いように感じられる。更なる振興策を期待するとともに、中心市街地商店街の一日の通行量などは、目標値の再検討も必要ではないか。	後期基本計画では、まちの活力や小売サービスの維持を目的に、商工会議所や商工会、株式会社西条産業情報支援センターなどの支援機関等と連携し、企業などがチャレンジしやすい環境構築をすすめ、新規出店や商業サービス提供希望者を発掘する施策に取り組むこととしています。 なお、成果指標については見直しを行い、後期基本計画では、「商業地域等の新規出店数の維持」「市内商店街の新規出店者数の維持」を設定しています。
27	6	活力あふれる産業振興のまちづくり	6 新規産業の創出	創業支援による創業実現数	創業支援による創業実現数が目標値を大幅に達成しているのは、Next Commons Lab 西条の成果と考えているのか。これからも移住者が根付くような西条であり、今回の事業が終わった後も、西条で事業をし、西条に移住してくれた人が一人でも多く残ってくれることを願っている。	創業実現数については、株式会社西条産業情報支援センター、西条商工会議所、周桑商工会、地元金融機関等とともに取り組む「創業支援等事業計画」に基づく数となっています。 引き続き、当該事業計画に基づき創業者の支援を推進し、誘致した起業家とも連携を図りながら、新たなチャレンジを応援するまちづくりに取り組んでまいりたいと考えています。
28	6	活力あふれる産業振興のまちづくり	7 観光産業の創出	観光入込客数	これからは新型コロナウイルスと共存していかないといけない時代で、どのような対策をしつつ、観光客を呼び込むのか、更に工夫が必要ではないか。	委員ご指摘のとおり、今後は、新型コロナウイルスと共存していかなくてはならない状況であることから、これからの観光においては、感染症対策が必須となってくると考えられます。現時点においても、手の消毒や健康チェックといった感染症対策は展開されていますが、今後は、「新しい生活様式」に即した施設の空間デザインや、根本的なサービスデザインの変更が必要になると考えられ、その変更に対応できるような観光対策並びに観光事業者への支援を検討していきたいと考えています。 また、株式会社ソラヤマいしづちでは、コロナ収束後の旅行需要の増大や国の旅行需要喚起施策を獲得できるよう付加価値の高い旅行商品の造成を進めています。
29	6	活力あふれる産業振興のまちづくり	8 産業人材・雇用環境	女性チャレンジスクール受講者数	女性チャレンジスクール受講者数の実績が、令和元年度において0人となっているがその理由は何か。	女性チャレンジスクールは、他の創業支援事業（起業セミナー）と事業内容が類似していたことから事業を一本化し、令和元年度から女性チャレンジスクールとしては実施を取りやめたため、令和元年度の実績が0となっています。
30			自由意見		医療、福祉や子どもたちの教育、生活など、新型コロナウイルス感染症による生活環境の変化に対応していただけたらと思う。	新型コロナウイルス感染症の影響により経済的負担が大きくなっている小規模事業者・農林水産事業者や子育て世代を支援するために、本市独自の給付金を支給するほか、感染症予防対策など、緊急性の高い事業から優先的に実施してまいります。また、市民生活及び経済活動への影響が長期化する可能性を想定しつつ、的確かつ効果的な施策を検討してまいります。
31			自由意見		市の委員について、委員長の人選は行政内で行い、委員長と行政で副委員長を決め、委員長、副委員長、行政で委員の人選をするとういと思う。大人数での会合は発言が出にくく、承認・通知だけの会になってしまうため、書面開催で十分になってしまうと思う。	委員の選任及び会議等における委員（出席者）がより発言しやすい場づくりについては、今後の検討課題とさせていただきます。